


●INDEX

エネルギーの地産地消をめざす	1
望月 康平	
巻頭言	5
国際協同組合年の世界的意義	富沢 賢治
争論 生協・協同組合における「共益」と「公益」	6
「組合員組織」である協同組合にとって、「公益」は副産物である	
J・バーチャル	
21世紀の協同組合にとって、「公益」は「共益」の前提である	
杉本 貴志	
特集 国際協同組合年なう。「協同組合の10年」を見据えて	
特集1 世界は国際年をどう迎えたのか	17
Co-operatives United に参加して	杉本 貴志
特集2 都道府県の動き	25
協同組合間連携による地域の協同の発展のために	
一国際協同組合年ひろしま実行委員会の取り組み一	田中 秀樹
国際協同組合年 IYC福岡の取組経過とこれからの方針	
横川 洋	
特集3 国際協同組合年の意義と成果	34
国際協同組合年の意義と成果一協同組合研究は進展したか一	
相馬 健次	
「関係性」をキーワードにした協同組合運動の展開	松岡 公明
新しい協同組合運動は生み出されたか	石塚 秀雄
協同組合の社会的認知の実際と生協運動の展望	
一地域を「知る」実践へ一	大高 研道
私の研究紹介	56
アフリカ農村から公正経済を考える	
一協同組合・フェアトレードの役割一	辻村 英之
くらしと協同の本	62
松岡公明 著『現場からのJA運動』	根岸 久子
津田直則 著『社会変革の協同組合と連帯システム』	中川 雄一郎
名和又介・庄司俊作・井上史 編『大学の協同を紡ぐ』	庄司 興吉
編集後記	69



表紙紋様 「欧文体の紋様」
田内隆司/京小紋画像提供(田内設計事務所)

江戸時代、鎖国していた日本では、アルファベットの使用は一部の知識階級に限られていました。しかし、明治中期からはローマ字として、一般市民の間にも広がっていきました。そして明治・大正時代、そのローマ字をデザインとして用いたのが、この「欧文体の文様」です。文字の持つ意味は分からなくても、新しいものを積極的に取り入れようとする、市民の心意気が現れているようです。京小紋の図柄としても大変珍しい図柄です。